

お客様へのメッセージ冊子

この冊子は、お客様に向けたセゾン投信のメンバーの思いや、応援いただいている方々のメッセージを集めたものです。ぜひ、ご一読ください。

下記は必ずお読みください。

この資料は、セゾン投信の役職員ならびに関係者の方々から皆様へ、「メッセージ」の発信を目的として作成したものであり、勧誘を目的とした、セゾン投信の提供する「販売用資料」ではありません。また、金融商品取引法に基づく、開示書類でもありません。したがって投資信託の購入、売却、あるいは保有を推奨するものではありません。

情報については、その正確性、信頼性、安全性等について保証するものではありません。過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスを推測する指標ではありません。

この情報に関する一切の権利、義務は、その情報提供者（以下「情報提供者」）に帰属します。この情報の内容は、情報提供者の事由により変更されることがあります。

この情報は、閲覧者ご自身のみのものであり、転載、または、第三者への提供は禁止します。

このメッセージに掲載された情報に基づく判断については、閲覧者ご自身の責任の下に行うこととし、万一このメッセージの情報により、閲覧者が損失を被ったとしても、セゾン投信株式会社、ならびにその情報提供者はいかなる損害に対しても一切の責任を負うものではありません。

投資信託の取得を希望される方は、必ず投資信託説明書（交付目論見書）を十分お読みいただき、内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

商号等	: セゾン投信株式会社
金融商品取引業者	: 関東財務局長（金商）第 349 号
加入協会	: 社団法人投資信託協会
お問い合わせ先	: セゾン投信お客様窓口 TEL03-3988-8668 (受付時間 9:00 ~ 17:00 土日祝日、年末年始除く)
	http://www.saison-am.co.jp

長期投資家仲間へのメッセージ VOL.15

成熟社会が求める熟成投資

2008年6月2日

日米投資信託事情

日本にも「貯蓄から投資へ」の時代が徐々に定着しつつあります。多くの一般生活者の運用にとって最も便利で有効な器である投資信託もこの流れに乗って順調に残高を伸ばし、サブプライムショック前の昨夏には公募投信残高が80兆円を超えるまでの規模になりました。昨今の投信残高伸長の立役者は銀行の投信窓販でしょう。いまや株式投信の過半が銀行経由で販売されるまでに、銀行が証券と並ぶ販売会社として成長著しいわけです。

さて投信先進国といわれる米国の事情はどうかというと、日本円で1000兆円規模の市場スケールがありその違いに驚いてしまいます。前世紀に早々と成熟経済国となった米国は投資運用が日本に較べ遥かに根付いているわけですが、日米で投信業界の中身を比較してみると、お国柄の違い？が顕著にわかります。

米国最大の投信会社はアメリカンファンドと呼ばれるキャピタル社、そしてほぼ同規模でセゾン投信のパートナーでもあるバンガード社が続き、その次がフィデリティ社です。一方日本はどうかというと最も大きな投信会社が野村アセットマネジメント、そして大和投信、日興アセットマネジメントと続きますが、このラインアップの大きな違いに気付きます。米国のトップ3はいづれも純粋独立系の運用会社であるのに対し、日本のそれは見事に証券大手3社の系列投信会社が、親会社である証券会社と歩調を同じくしています。

そして日本の投信大手3社の残高における市場占有率は50%近くと寡占が目立ちます。ちなみに米国では投信会社上位10社は大半が独立系であるのに対して、日本では10社中8社が証券・銀行系（残り2社は外資系）と業界秩序に大きな違いがあり、裏を返せば日本では販売会社系の投信会社主導で業界が発展してきた環境下、国内の独立系運用会社にとっては大変厳しい市場であるということです。

日米ファンドの寿命

では今度は個別ファンドについて、日米の純資産総額上位10商品を今年3月末時点で比較してみましょう。米国の上位10本のうち実に7本がキャピタル社のアメリカンファンド、そして2本がバンガード社のファンドです。一方日本では10本中8本が大手証券・銀行系投信会社のものであり、また5本がいわゆる1兆円ファンドとなっています。そこで、ここでの極めて大きな日米の違いが運用期間です。米国の上位10本のうち一番新しいファンドでも15年前の設定であり、一番古いファンドは70年以上の運用期間を生き抜いています。10本の平均運用期間はざっと33年です。対して日本の10本のうち辛うじて10年を越えているのが国際投信の「グローバルソブリンオープン」1本のみ、逆に設定後3年未満のファンドが4本もランクインしており、10本の平均運用期間は「グロソブ」を含めても5年に届きません。米国では独立系ファンドが長きに渡り投資家の支持を得て時間と共に残高を増やしているのに対し、日本では新しいファンドに資金が集まってくるのが覗えます。逆に米国サイドから見ると、運用期間が3年にも満たないファンドが2本も1兆円ファンドとして君臨している事実には驚嘆するのかもしれませんが。かように米国で支持されているファンドは押しなべてご長寿であり、日本のファンドは極めて短命であるという真実が浮かび上がります。ちなみに米国では10年以上の運用期間を持つファンドの残高が全体の6割以上を占め運用年数が長くなるほどファンド規模が大きくなるのに対し、日本では設定時が最大であるファンドも数多く、私たち長期投資家にとって我が国投信業界の現実には実に残念な結果と言わざるを得ません。

長期投資でインフレに克つ

私たち一般生活者にとって「貯蓄から投資へ」が意味するものは、将来に向けてのしっかりとした財産形成であるはずですが、日本は預貯金に置いていてもほとんど元手が増えない経済になって久しく、此の先間違いなく小さな政府を指向していくであろう成熟国家日本に於いて自らの将来を自分で担保して行く、そのための「貯蓄から投資へ」なのです。結果を焦ってジェットコースターのような相場に足を踏み入れるのではなく、ごく当たり前の運用の波にじっくりと時間をかけてゆったり積み上げていくのが長期投資、そして実に多くの生活者は一喜一憂しないでゆったりのんびり熟成投資の資産形成を選択したいはずですが。

そしてもうひとつ、我が国もようやくデフレの出口にたどり着きこれからは長きに渡るインフレ経済に移行し始めるでしょう。21世紀の世界経済は、戦争のない平和な時代と共に地球が一体となって成長を拓げて行くというグローバル化の時代を迎えました。世界経済の一体的成長は、先進諸国にデフレの構造をもたらします。安価な労働力の活用がアジア・中南米・アフリカへと拡大する中で、供給者側にとっては常にコストダウンの競争を強いられます。こうした21世紀型経済への急転換に、日本経済は戸惑いしばらくの間デフレ地獄を味わいました。そしてようやく企業のコスト吸収努力がデフレ圧力に均衡する段階まで辿り着いたといった処です。これから先は競争力ある企業が価格転嫁を徐々に可能とさせる一方、努力不足の企業は劣敗を余儀なくされます。この淘汰がデフレの終焉となります。他方21世紀経済が地球上の経済成長を拡大させるにつれ、資源・エネルギー・食料といった経済活動に直結する実物経済の需要を増大させます。この大きな流れを先取りして資源価格・穀物市場が急騰しているわけで、日本経済もこれからデフレ構造と綱引きしながらのインフレシフトが顕在化してくるでしょう。資産を保全する上でインフレが大敵なのは言うに及ばず、そしてインフレに打ち克ってしっかりと財産形成していくためには、運用の波にお金を載せて、長い時間をかけて実体経済の成長の果実をとりに行く長期投資が唯一の方法だと言ってもいいでしょう。いよいよ長期投資を求める一般生活者のニーズがうねりを上げて湧き上がって来るはずですが。

本格的長期保有型ファンドの使命

いよいよ我が国の生活者たちが、個人金融資産の半分を占める預貯金を運用に振り向けて一斉に動き始める時機が近づいてきました。そして多くの一般生活者が求めるべきは、時間をたっぷりと味方に付けた長期投資です。しかしながら前述の通り、日本の投資信託業界には米国のような長期投資を徹底できる環境が整っていません。ならば長期投資のニーズをしっかりと満たすファンドを世に出そうと、セゾン投信（長距離列車セゾン号）は昨年動き始めました。当たり前の運用を当たり前に積み上げて、長期熟成投資により当たり前の結果（運用の果実）を将来への経済的自立に向けて行動する生活者にしっかりと収穫していただくことを目的とする本格的長期保有型ファンドです。米国の例が示す通り、本格的長期保有型ファンドは年月の経過と共にどんどん大きく育っていくものです。そしてたくさんの長期投資家仲間の思いをひとつにした資金の集積が、将来の運用成果を安定させる大きなエネルギーとなります。日本にもこれから、本物の長期熟成型ファンドが生活者の多くの支持を得て定着する日が訪れるでしょう。もし米国の如くであれば、その主役は「セゾン号」も含め独立系運用会社ということになるのでしょうか。もちろんその日に向けて「セゾン号」乗務員一同は毎日本気で取り組んでおりますが、何と云ってもその変革への原動力は、長期投資家仲間の皆様との思いの共有にあります。まだまだこれからの長い長い長期投資の旅と一緒に楽しく頑張ってください。

セゾン投信株式会社
代表取締役社長 中野晴啓

農夫のように実りを待とう！

ジャン・フランソワ・カントン
コムジェスト・エス・エー 社長

この月次の投資家あてのお手紙に私のメッセージを載せていただけることを大変うれしく思っております。私たちコムジェストの役職員一同は、セゾン投信と日本のお客様に対し長期投資のメリットを提供することができることに大変興奮しております。また、私たちは、日本の個人投資家の金融資産を増やすお手伝いができるチャンスを得たことも幸せに思っております。この手紙は、私たちの長期投資に対する考え方を伝える大変貴重な機会を与えてくれます。

投信の運用は農業と似ています。私は、農業と運用は大変似ていると言うことが好きなのです。というのは、最初にいい種をしっかりと選び、忍耐強く待ち、そしてたくさんの手入れをすることが必要なのに加え、時として悪天候によりせっかくの生育が台無しになってしまうこともあります。コムジェストにおいては、21年間の長きに亘り、私達は農家のように、あるいは花の栽培家のように、お客様の資産を育成してまいりました。

良い種を選別する

コムジェスト社のポートフォリオ・マネージャーやリサーチ・アナリストは、すべての上場企業を綿密に調査し、その中から30～35社の投資対象に値する優良企業を最終的に選び出します。私たちはどんな天候においても（どんな経済環境においてもの意味）毎年利益と配当を成長させることができるとコムジェストが予測する企業を選び出します。

これらの企業は、他の企業と比べてとても強い参入障壁を持っています。この参入障壁が意味することは、クリスチャン・ディオールやハイネケンそしてギリシャにおいて活動しているコカ・コーラ・ヘレニック・ポトリングが持っているようなとても強いブランド力のことを指します。それからフィリピンにおける SM プライムのようにとても強固な財務体質で非常に価値のある資産を持っている企業、中外製薬と提携しているスイスのロシユのように非常に価値のある特許を保有している企業などがあります。

細心の注意を持って育成する

私たちは、投資先の企業が健全であるかどうか常に観察しています。それらの企業はマーケット・シェアを伸ばしているのか、中国等から来た新たな競争相手に苦しんでいるのかどうかなど。そしてそれらの企業はまだ売り上げや利益を成長させることができているのか？ そのため私たちは投資先の企業を年に2回は訪問し、その企業の財務の責任者に面会したり、オフィスや工場を訪問したり、その企業の顧客や部品等の納入業者と話したりしています。

我慢強く

私たちは、たいてい投資先の企業を4～5年程度保有します。私たちは、長期投資家なので、その中のいくつかはとても長く保有します。私たちは、利益や配当成長が長く続き、株価の水準があまり高くないという状態を好みます。

毎日私たちは、コンピュータで投資先の企業の妥当な株価つまり本質的な価値や保守的

な投資家にとっての目標株価を計算しています。その株価がその目標株価を下回っている限り私たちはその企業を買い続けます。

天候の悪い時も冷静に待つ

株式市場は時々悪天候（株式市場に与える悪い出来事）に見舞われます。例えば、中東には政治的な問題を見ることができますし、北アメリカでは不動産市場の危機を見ることができますし、最近のベアー・スターンズのように銀行が倒産しそうだということも聞かえてきます。こういった時期には、いい企業の株価も悪い企業の株価も下がってしまいます。パニックに陥った投資家はどんな値段でもいいからとにかく売りたいと思うため私たちが保有する優良銘柄の株価も下がります。

私たちは、そういった優良企業の株式も大きく下げるような事態はうれしくなります。なぜならば、私たちは、卓越した素晴らしい企業の株式をとて割安な価格で買うことができるからです。私たちは、株式市場が混乱している時にバーゲン価格で投資できます。

私たちの日本法人である日本コムジェストは、エマージング諸国の株式に投資する投信とヨーロッパ株式に投資する投信を3月末までに設定しました。それはちょうど株式市場がサブプライムの悪影響を恐れて株価が急激に下がった最中でした。ですから、私たちの投信の受益者は、株価が割安であったことの恩恵を受けています。私たちはこのタイミングでのスタートは素晴らしい門出であったと思っています。

そして収穫

私たちの投資先の企業はそれぞれの異なったペースで成熟し、花を咲かせてくれます。一部の投資家は、他社よりも先に開花して株価の値上がりが速くなります。その時は、収穫します。状況をよく点検して、もしも投資先の収益やその基礎的な条件に比べて株価が著しく割高となったらその時株式を売却することが時にはあります。

私は経験ある農夫を頼るということが有効であるということに気付いていただきたいと思います。コムジェストにおいては、様々な株式市場や債券市場で30年以上もの運用経験を持つポートフォリオ・マネージャーが数人います。私自身は1977年から日本株の運用を始めました。

このコムジェストの非常に保守的な運用手法によって、私たちはお客様の資産をうまく増やしてきました。私たちが海外で運用してきたファンドの運用成績が良好であったため、私たちのお客様は、長期保有のおかげでお客様やその家族にとって実りのある結果をもたらしたのです。

最後に私たちが提供するファンドが良好な成績を収めて、皆様の資産づくりの一助となれば幸いです。

執筆者プロフィール

ジャン・フランソワ・カントン

コムジェスト・エス・エー 社長

パリ政治学院卒業。フランスの大手銀行に入社後インドスエズ銀行でアジア・太平洋地域市場のファンドマネージャーとして移籍。1986年に長期投資を投資哲学とした運用会社「コムジェスト」を創立、社長就任、現在に至る。

セゾン投信の素顔

既に口座の開設をいただいた方含め、我々の取組みに興味や関心を持って見守っていただいている方へのメッセージ発信の場として「セゾン投信の素顔」を掲載しております。

ここでは、セゾン投信で働くメンバーが日々感じたり考えたりしていることを紹介しています。セゾン投信で熱い思いを抱いて働いている私たちの人となりや少しでも感じていただければ幸いです。

「クルム伊達公子選手の復活にエール」

日本テニス界の重鎮クルム伊達公子さん(37)が先日現役に復帰されました。復帰戦は「優勝！」とまではいきませんでした。それでもベテランの貫禄で準優勝という華々しい再デビュー戦となりました。最近のスポーツ界は、若手選手の活躍が目覚しく、特に10代の選手達が華々しく取り上げられている姿をよく目にします。そんな中で、ベテランともいえる37歳での現役復帰は、学生時代に伊達選手の活躍を見ながらテニスに夢になっていたファンとしてはなんとも嬉しい話です。世界ランキングは最高で4位、皆に惜しまれながら引退し、その後は子供向けの「キッズテニス」など教育的立場で積極的にテニスと関わっていましたが、やはりテニスが好きなのでしょう。「好きこそものの上手なれ」という言葉がありますが、まさに好きで楽しんでいる人には何人もかなわないのかもしれない。これから肉体的には過酷な選手生活になるとと思いますが、ぜひまた私達に夢を与えてくれたらと思います。伊達選手がんばれ！

佐藤 恭子

「GWにふと感じたこと」

風薫る五月があつという間に過ぎ、夏まであと一步の梅雨のシーズンが到来です。少し前の話になりますが、皆様はどのようなGWを過ごされましたでしょうか。私は五月晴れの最終日、友人と明治座へ舞台鑑賞に行きまいりました。これまでミュージカルやバレエなどは鑑賞したことがありましたが、時代劇の舞台は初めて、それも明治座と言う歴史ある場所での鑑賞ということで心踊らせながら向かいました。作品はおそらく江戸時代でしょうか、とある国を舞台にした質素ながらも堅実に懸命に生きる若者達を描いたとてもすがすがしいものでした。そして明治座ならではのな～と感じたことが。それは時代劇だからか(?)年配の方たちが多く、皆さんお友達やご家族と楽しそうに幕間に食べるお弁当を選んだり、人気スターのお土産を探したりしているということです。いくつになっても友達や家族など大切な人と楽しみや喜びを共有することは素敵なことだなあと、しみじみ感じました。一緒に行った友人との付き合いも今年で7年目、これからはたくさんの楽しみや喜びを共有していけたらな、とそんなことをふと思ったGWでした。

小野寺 明子

「セゾン投信3年目」

6月12日でセゾン投信は創立から3年目を迎えます。昨年3月の営業開始から口座を開設して下さった方々、ファンドを購入して下さった方々、その他多くの関係者の皆様に支えられてきたことを、さまざまな場面を通じて感じてきた2年間でした。3年目からも、会社とともに自分が成長できるようにがんばっていきたいと思います。

水野 美枝

「新駅誕生」

いよいよ東京に最後の地下鉄新線と言われる「副都心線」が開業します。鉄道マニアにとって新線開通は指折り数えて待つ大きなイベントです。その中で「北参道」駅のネーミングに、自分のイメージとの合致を見て嬉しくなりました。これまで仮称は「新千駄ヶ谷」となっており実に嫌な気分でした。駅名はその地域を独自に表現するものでなければいかんという持論があり、大江戸線の「上野御徒町」(上野?御徒町?どっちなの?)や西新宿5丁目(数字をわすれちゃう)など大いに不満な駅名です。「北参道」いいですねえ。あの界隈を表すのにピッタリの名称です。今はほとんど何も無い処ですが、そのうちお店ができて、Hanakoが「いま北参道が熱い」特集を組むときがきっと来ることでしょう。

中野 晴啓

セミナー情報

生活者のための簡単で有効な投資法【東京】

2008年6月20日(金) 19:00~20:30(開場:18:30)

会場:日本教育会館 9階 901号室(住所:東京都千代田区一ツ橋2-6-2)

定員:70名(先着順)

費用:無料

<プログラム>

主催者挨拶:中野晴啓(セゾン投信社長)

講演:生活者のための簡単で有効な投資法

講師:加藤 隆氏(バンガード・グループ 駐日代表)

質疑応答

講師:加藤 隆氏(同上)

中野晴啓(同上)

第2回 投資信託に関する疑問に何でもお答えします(質疑応答形式セミナー)【東京】

2008年6月23日(月) 19:00~20:30(開場:18:30)

講師:房前 督明氏(ファンドコンサルティングパートナーズ代表)

中野晴啓(セゾン投信社長)

セゾン投信社員

会場:総評会館 405会議室(住所:東京都千代田区神田駿河台3-2-11)

定員:10名(先着順)

費用:無料

セゾン投信が運用する商品について【東京】

2008年6月26日(木) 19:00~20:00(開場:18:30)

講師:当社運用部社員

会場:サンシャイン文化会館 7階 703室(住所:東京都豊島区東池袋3-4-4)

定員:20名(先着順)

費用:無料

運用祭り~達人が語る、長期投資の醍醐味~【東京】

2008年6月28日(土) 13:30~16:30(開場:13:00)

会場:タイム24ビル 2階 研修室203(住所:東京都江東区青海2-45)

定員:200名(先着順)

費用:無料

<プログラム>

第1部 講演 「コムジェストの考える長期投資とは(仮)」

講師 ジャン・フランソワ・カントン氏(コムジェスト・エス・エー社長)

*日本語通訳付

第2部 パネルディスカッション

出演者 山本和史氏(日本コムジェスト 代表取締役)

澤上篤人氏(さわかみ投信 代表取締役)

平山賢一氏(東京海上アセットマネジメント投信 運用戦略室 チーフストラテジスト/チーフアドバイザー)

コーディネーター

中野晴啓(セゾン投信社長)

小心者のための投資入門【東京】

2008年7月18日(金) 19:00~20:40(開場:18:30)

会場:ベルサール神田 Room5(住所:東京都千代田区神田美土代町7 住友不動産神田ビル3F)

定員:30名(先着順)

費用:無料

<プログラム>

講演 「投資家になるための、生命保険の見直し方」

講師 池上秀司氏(ファイナンシャル・プランナー)

講演 「月々5,000円で投資家の仲間入り!」

講師 中野晴啓(セゾン投信社長)

質疑応答

セミナーの詳細、お申込につきましては当社ホームページから「セミナー情報」をご覧ください。

URL <http://www.saison-am.co.jp>

セミナーに関するお問合せ先

セゾン投信お客様窓口 TEL 03-3988-8668(9:00~17:00 土日祝、年末年始を除く)

ご留意事項

上記セミナーにおきまして、セゾン投信が設定、運用、販売を行う投資信託の勧誘を行うことがあります。投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので基準価額は変動します。その結果、購入時の価額を下回ることもあります。また、投資信託は、銘柄ごとに設定された信託報酬等の諸経費がかかります。各投資信託のリスク、費用については投資信託説明書(交付目論見書)に詳しく記載されております。ご購入に際しては、必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認いただき、ご自身でご判断ください。

よくあるご質問

Q: ファンドを解約する際に買取請求はできますか? また、税制について教えてください。

A: 当社が取扱うファンドは解約請求のみでの解約となります。

<解約益が出た場合>

ファンドを解約した際の解約益に対しては、配当所得として10%(所得税7%、地方税3%)*が源泉徴収されます。当社がお客様に代わって納税いたしますので、お客様ご自身で確定申告される必要はございません。

なお、解約益は他の株式や株式投資信託の売却損と損益通算することはできません。

*平成20年末まで。平成21年以降は証券税制が変わります。

<解約損が出た場合>

ファンドを解約した際の解約損は「みなし譲渡損」として他の株式や株式投資信託の売却益と損益通算することができます。その場合は、お客様ご自身での確定申告が必要となります。

Q: 特定口座の取扱いにはありますか?

A: 当社では特定口座のお取扱いはなく一般口座のみのお取扱いとなります。

Q：年間取引報告書はありますか？

A：当社では特定口座のお取扱いがないため、年間取引報告書は作成しておりません。確定申告書はお取引の都度交付しております「取引報告書」をご覧ください、お客様ご自身でご作成ください。

Q：取引報告書が届かないのですが

A：総合取引口座開設時に「取引報告書の書面の電子交付に関する承諾書」にご捺印いただいておりますと、「取引報告書」等は電子交付となり書面ではお送りしておりません。セゾン投信ネット取引にログインの上、ご自身でご確認ください。

(確認方法)

「ログイン」「口座管理」「電子交付」「取引報告書閲覧」「以上の条件で、報告書の一覧を表示する」別画面でPDFファイルが起動。

*インターネットエクスプローラのツールの設定で「ポップアップブロック」という機能を「無効」にしてご利用ください。

税制、確定申告につきましてはお近くの税理士にご相談ください。当社にお問合せいただきましてもお答えできない場合がございます。

<お問合せ先> セゾン投信お客様窓口

TEL：03-3988-8668(9:00~17:00 土日祝、年末年始を除く)

買付・解約 受付不可日のお知らせ(2008年6月4日~8月末日)

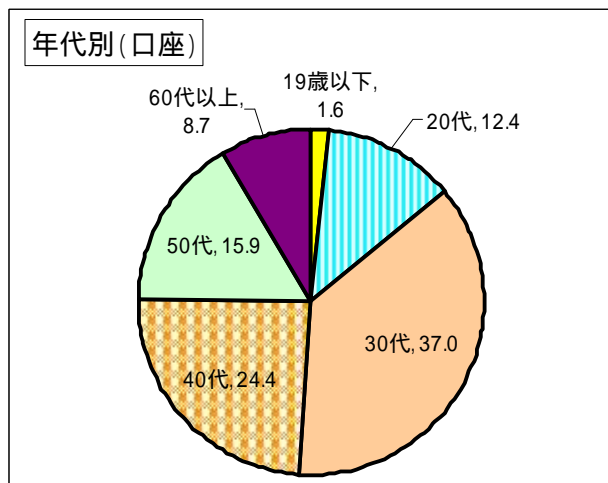
下記は2008年6月4日現在の当社取扱いファンドの休日(海外休日等)の情報です。当該海外休日等は日本の営業日の場合でも、信託約款に定める申込不可日としてご注文を受付することができません。当該海外休日等にいただいたご注文は、「翌営業日」を注文日として承ります。

下記は信頼できると思われる資料に基づいて作成されていますが、その正確さや完全さに対する責任を当社が負うものではありません。各地の休業日は都合により変更されることがあり、下記もこれを反映すべく予告なしに変更される場合がありますので予めご了承下さい。

セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド	7/4(金) 8/4(月)
セゾン資産形成の達人ファンド	7/4(金) 8/4(月) 8/25(月)

セゾン投信 会員数 (2008年5月末日)

26,609 口座



TOPICS:

口座を開設いただいた方が26,000名を超えました。今月は特に19歳以下の方と30代の方の比率が増えました。

本日に多くのお客様に支えられていることに感謝を申しあげるとともに、長期に渡って信頼される会社としての礎を築くべく、一年一年目的を忘れず今後も努力して参ります。

法人口座データ除く

当社のファンドに係るリスクについて

当社の運用、販売するファンド（以下、当ファンド）はファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としており、株式や公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また当ファンドは外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

したがって、ご投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。

詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当社のファンドに係る費用について

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

<セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド>

申込時に係る費用

申込手数料はかかりません。

解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して0.1%の信託財産留保額が控除されます。

保管期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬

ファンドの純資産総額に年0.4935%（税抜0.47%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年0.77%±0.02%（概算）となります。

その他費用

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用（有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む）監査報酬（消費税含む）立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことが出来ません。

詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

<セゾン資産形成の達人ファンド>

申込時に係る費用

申込手数料はかかりません。

解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して0.1%の信託財産留保額が控除されます。

保管期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬

ファンドの純資産総額に年0.567%（税抜0.54%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年1.3%±0.2%（概算）となります。

その他費用

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用（有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む）監査報酬（消費税含む）立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことが出来ません。

詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。